

「鳥取・因幡定住自立圏」の取組に係るインターネットアンケート
報告書

| | |
|--------------|------|
| 1. 調査の概要 | 1 |
| 2. 回答者について | 2～3 |
| 3. アンケート調査結果 | 4～20 |

平成26年10月
鳥取市企画推進部企画調整課

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

鳥取・因幡定住自立圏の取り組みについて、市民の意識を把握し、「第2期鳥取・因幡定住自立圏共生ビジョン」の策定に向けての参考資料とすることを目的とする。

(2) 調査方法

- ・調査対象：平成26年度鳥取市インターネットモニター 100人
- ・調査方法：インターネットを利用して送信

(3) 調査期間

- ・平成26年9月19日（金）～9月30日（火）

(4) 回収状況

- ・送信数 100人
- ・回収数 80人（回収率 80%）

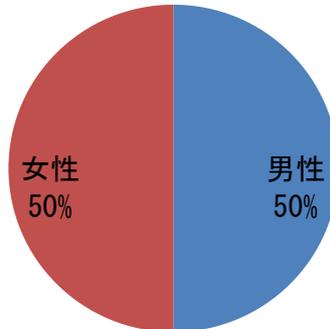
(5) 調査結果の数値について

百分率(%)は回答数を100%として算出し、小数点を四捨五入してある。
したがって図表およびグラフの合計が100%とならない場合がある。

3. 回答者について

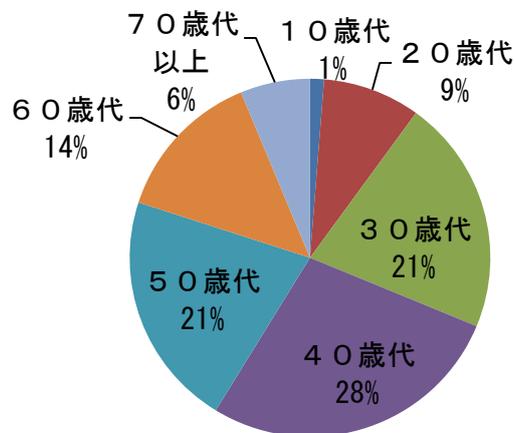
●性別

| 性別 | 回答数（人） | 割合（％） |
|----|--------|-------|
| 男性 | 40 | 50% |
| 女性 | 40 | 50% |
| 合計 | 80 | |



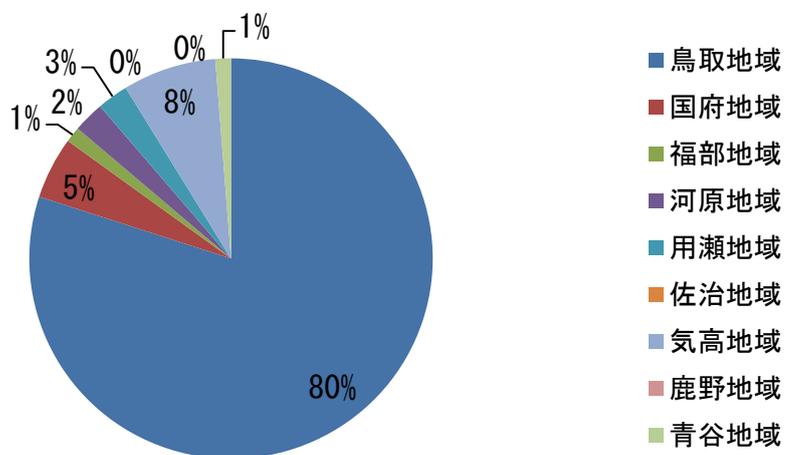
●年齢

| 年齢 | 回答数（人） | 割合（％） |
|--------|--------|-------|
| 10歳代 | 1 | 1% |
| 20歳代 | 7 | 9% |
| 30歳代 | 17 | 21% |
| 40歳代 | 22 | 28% |
| 50歳代 | 17 | 21% |
| 60歳代 | 11 | 14% |
| 70歳代以上 | 5 | 6% |
| 合計 | 80 | |



●居住地

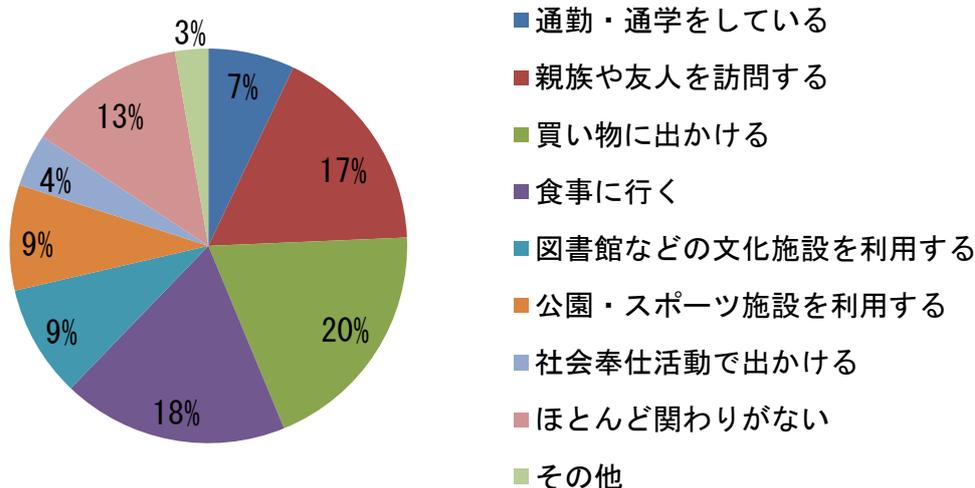
| 地域 | 回答数（人） | 割合（％） |
|------|--------|-------|
| 鳥取地域 | 64 | 80% |
| 国府地域 | 4 | 5% |
| 福部地域 | 1 | 1% |
| 河原地域 | 2 | 3% |
| 用瀬地域 | 2 | 3% |
| 佐治地域 | 0 | 0% |
| 気高地域 | 6 | 8% |
| 鹿野地域 | 0 | 0% |
| 青谷地域 | 1 | 1% |
| 合計 | 80 | |



3. アンケート調査結果について

(1) あなたは、近隣の市町村と日常生活上何か関わりがありますか（複数回答可）。

| 選択肢 | 回答数(人) | 割合(%) |
|-----------------|--------|-------|
| 通勤・通学をしている | 13 | 7% |
| 親族や友人を訪問する | 32 | 17% |
| 買い物に出かける | 36 | 19% |
| 食事に行く | 34 | 18% |
| 図書館などの文化施設を利用する | 17 | 9% |
| 公園・スポーツ施設を利用する | 16 | 9% |
| 社会奉仕活動で出かける | 8 | 4% |
| ほとんど関わりがない | 24 | 13% |
| その他 | 5 | 3% |
| 合計 | 185 | |

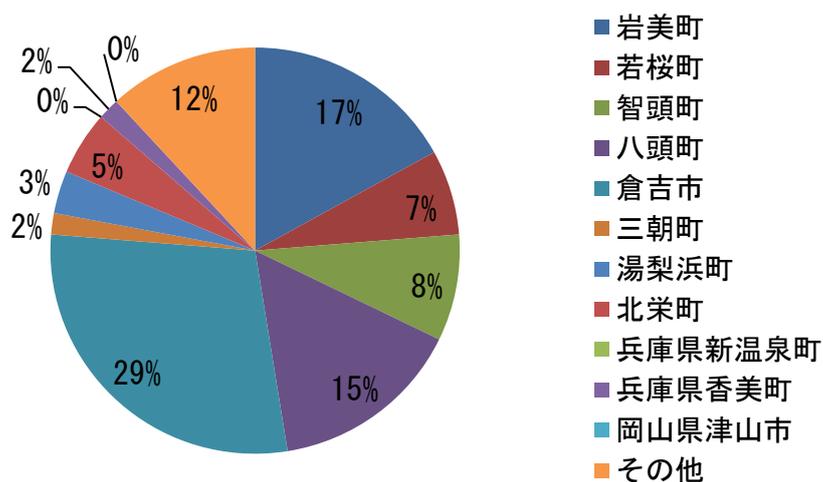


「その他」(主な意見)

- 若桜町、岩美町など子供とでかけることが多い。
- 神社の参拝、景色を見たり、ハイキングにでかける。
- コンサート
- 入浴施設の利用、観光
- 趣味の会でかなり広範囲の人達と共に練習に励み日頃お付き合いは密にしている。

(2) 日常生活上の関わりが最もある市町村はどこですか。

| 選択肢 | 回答数(人) | 割合(%) |
|---------|--------|-------|
| 岩美町 | 10 | 17% |
| 若桜町 | 4 | 7% |
| 智頭町 | 5 | 8% |
| 八頭町 | 9 | 15% |
| 倉吉市 | 17 | 29% |
| 三朝町 | 1 | 2% |
| 湯梨浜町 | 2 | 3% |
| 北栄町 | 3 | 5% |
| 兵庫県新温泉町 | 0 | 0% |
| 兵庫県香美町 | 1 | 2% |
| 岡山県津山市 | 0 | 0% |
| その他 | 7 | 12% |
| 合計 | 59 | |



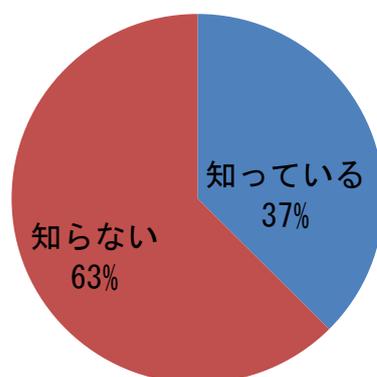
「その他」(主な意見)

○米子市・出雲市・大阪市

○鳥取県中部、東部、兵庫県隣接部、岡山県東北部地域

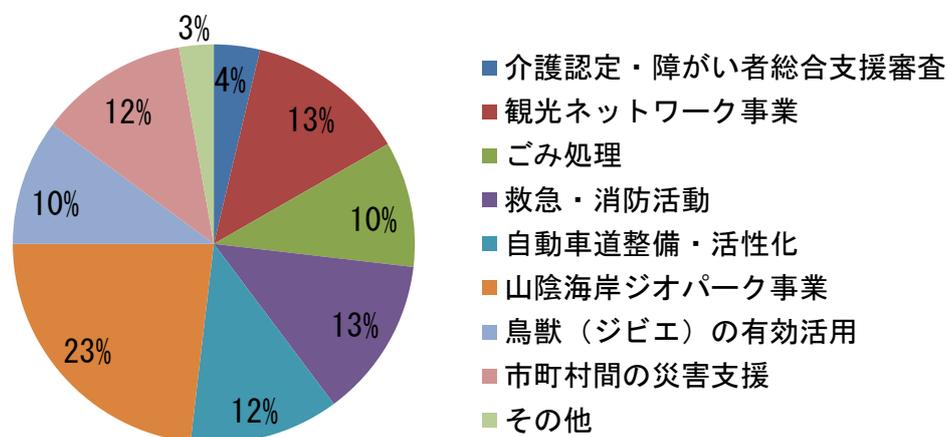
- (3) 鳥取市では、近隣の市町村と連携した取り組みをしています。
どのような取り組みをしているかご存知ですか。

| 選択肢 | 回答数(人) | 割合(%) |
|-------|--------|-------|
| 知っている | 30 | 38% |
| 知らない | 50 | 63% |
| 合計 | 80 | |



- (4) (3) で「知っている」とお答えいただいた方にお尋ねします。
どのような取り組みをご存じですか（複数回答可）。

| 選択肢 | 回答数(人) | 割合(%) |
|-----------------|--------|-------|
| 介護認定・障がい者総合支援審査 | 4 | 4% |
| 観光ネットワーク事業 | 14 | 13% |
| ごみ処理 | 11 | 10% |
| 救急・消防活動 | 14 | 13% |
| 自動車道整備・活性化 | 13 | 12% |
| 山陰海岸ジオパーク事業 | 25 | 23% |
| 鳥獣(ジビエ)の有効活用 | 11 | 10% |
| 市町村間の災害支援 | 13 | 12% |
| その他 | 3 | 3% |
| 合計 | 108 | |

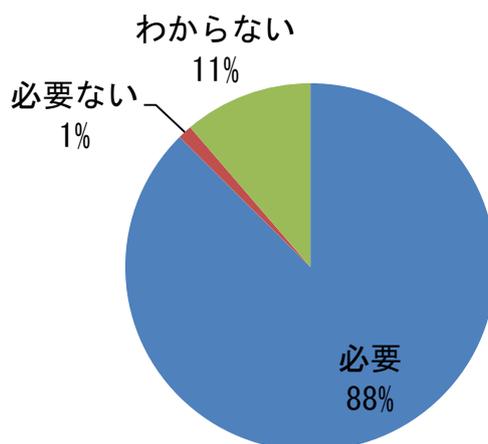


「その他」(主な意見)

○公民館活動

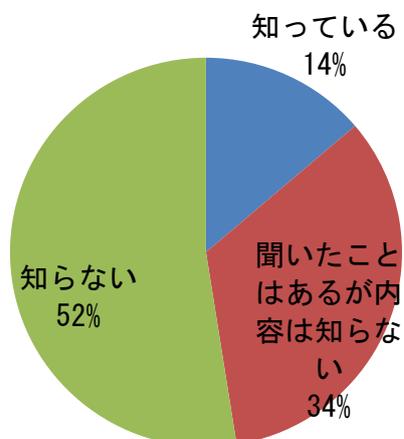
(5) あなたは近隣の市町村同士が連携した「広域行政」の取り組みは必要だと思いますか。

| 選択肢 | 回答数(人) | 割合(%) |
|-------|--------|-------|
| 必要 | 70 | 88% |
| 必要ない | 1 | 1% |
| わからない | 9 | 11% |
| 合計 | 80 | |



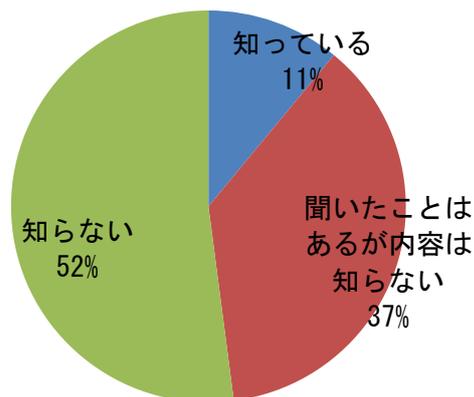
(6) 国において、少子・高齢化や地方から都市への人口流出を食い止めるため、平成21年度から生活圏を一体とする自治体同士の活性化を進めるため、人口5万人程度以上の市を中心に連携を推進していますが、ご存じですか。

| 選択肢 | 回答数(人) | 割合(%) |
|------------------|--------|-------|
| 知っている | 11 | 14% |
| 聞いたことはあるが内容は知らない | 27 | 34% |
| 知らない | 42 | 53% |
| 合計 | 80 | |



(7) 国の定住自立圏構想を受け、生活圏が一体となっている鳥取市と鳥取県東部4町及び兵庫県新温泉町と鳥取・因幡定住自立圏を形成し、「鳥取・因幡定住自立圏共生ビジョン」を策定しました。この共生ビジョンについてご存じですか。

| 選択肢 | 回答数(人) | 割合(%) |
|------------------|--------|-------|
| 知っている | 8 | 11% |
| 聞いたことはあるが内容は知らない | 27 | 37% |
| 知らない | 38 | 52% |
| 合計 | 73 | |



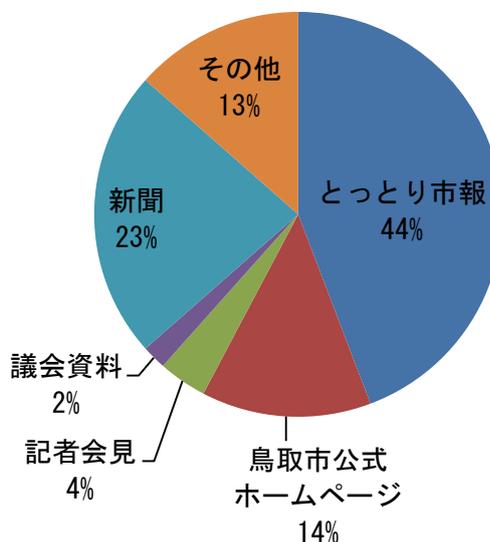
(8) (7)で「知っている」、「聞いたことはあるが内容は知らない」とお答えの方にお尋ねします。どこで知りましたか(複数回答可)。

| 選択肢 | 回答数(人) | 割合(%) |
|-------------|--------|-------|
| とっとり市報 | 23 | 44% |
| 鳥取市公式ホームページ | 7 | 13% |
| 記者会見 | 2 | 4% |
| 議会資料 | 1 | 2% |
| 新聞 | 12 | 23% |
| その他 | 7 | 13% |
| 合計 | 52 | |

「その他」(主な意見)

○知人

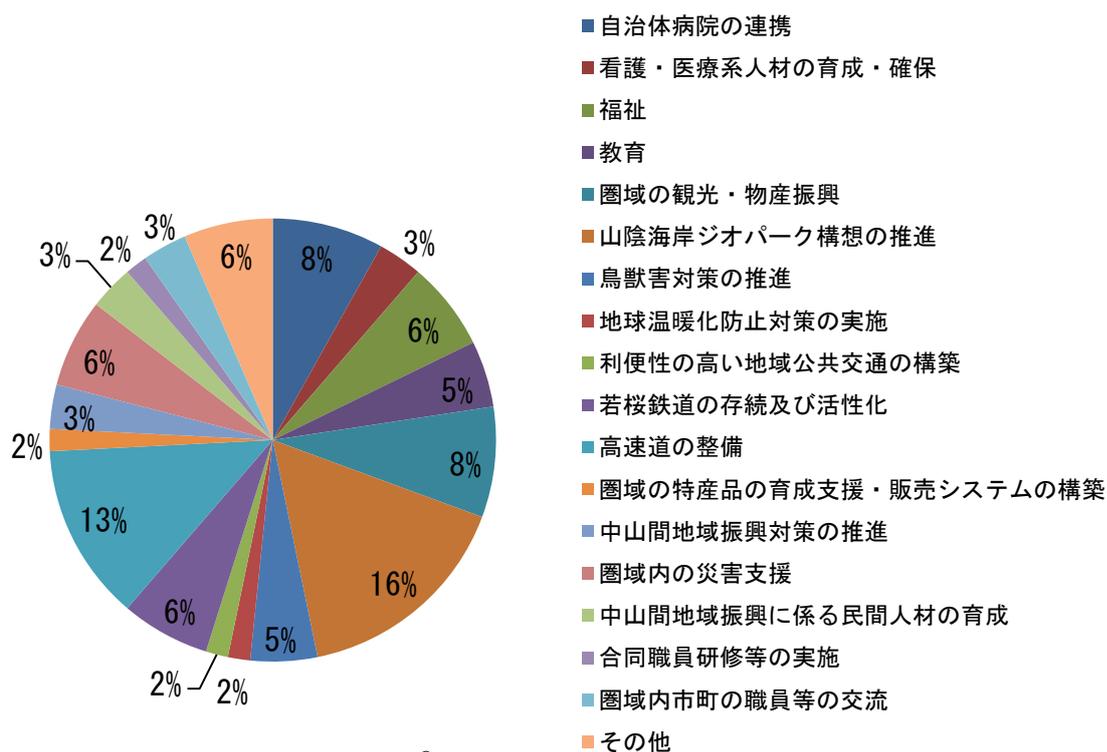
○ケーブルテレビ



(9) (7) で「知っている」とお答えいただいた方にお尋ねします。

どのような取り組みをご存じですか（複数回答可）。

| 選択肢 | 回答数(人) | 割合(%) |
|-----------------------|--------|-------|
| 自治体病院の連携 | 5 | 8% |
| 看護・医療系人材の育成・確保 | 2 | 3% |
| 福祉 | 4 | 6% |
| 教育 | 3 | 5% |
| 圏域の観光・物産振興 | 5 | 8% |
| 山陰海岸ジオパーク構想の推進 | 10 | 16% |
| 鳥獣害対策の推進 | 3 | 5% |
| 地球温暖化防止対策の実施 | 1 | 2% |
| 利便性の高い地域公共交通の構築 | 1 | 2% |
| 若桜鉄道の存続及び活性化 | 4 | 6% |
| 高速道の整備 | 8 | 13% |
| 圏域の特産品の育成支援・販売システムの構築 | 1 | 2% |
| 中山間地域振興対策の推進 | 2 | 3% |
| 圏域内の災害支援 | 4 | 6% |
| 中山間地域振興に係る民間人材の育成 | 2 | 3% |
| 合同職員研修等の実施 | 1 | 2% |
| 圏域内市町の職員等の交流 | 2 | 3% |
| その他 | 4 | 6% |
| 合計 | 62 | |

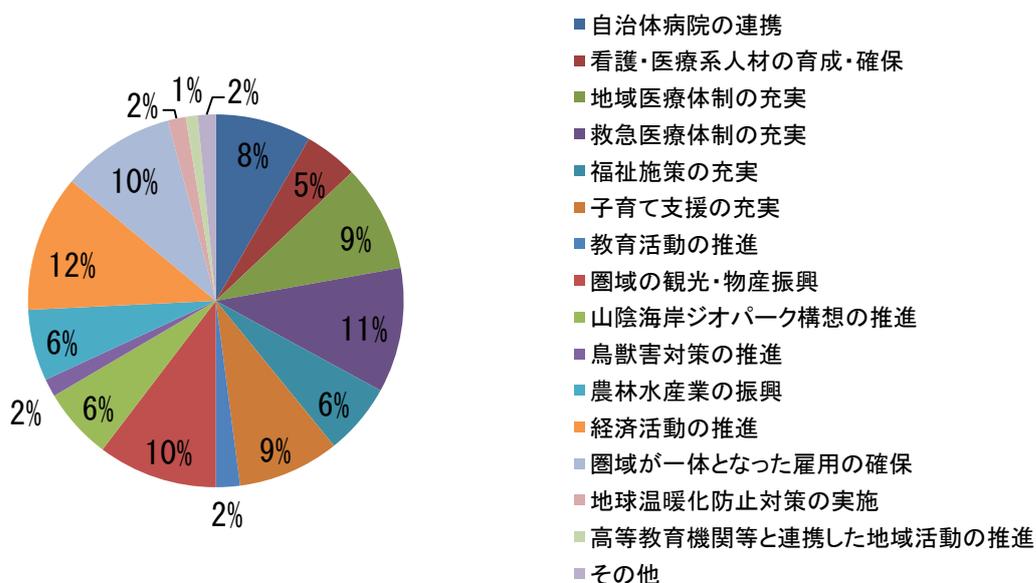


(10) 鳥取・因幡定住自立圏共生ビジョンでは、次の3分野で45事業に取り組んでいます。

- ①圏域全体の生活機能の強化
- ②圏域内自治体同士の結びつきやネットワークの強化
- ③圏域をけん引する人材の確保・育成のための圏域マネジメント能力の強化

この中で、①生活機能の強化のための事業のうち、重点的に取り組むべきだと思う事業は何だと思われますか。次の中から2つお選びください。

| 選択肢 | 回答数(人) | 割合(%) |
|---------------------|--------|-------|
| 自治体病院の連携 | 16 | 8% |
| 看護・医療系人材の育成・確保 | 9 | 5% |
| 地域医療体制の充実 | 18 | 9% |
| 救急医療体制の充実 | 21 | 11% |
| 福祉施策の充実 | 12 | 6% |
| 子育て支援の充実 | 17 | 9% |
| 教育活動の推進 | 4 | 2% |
| 圏域の観光・物産振興 | 20 | 10% |
| 山陰海岸ジオパーク構想の推進 | 12 | 6% |
| 鳥獣害対策の推進 | 3 | 2% |
| 農林水産業の振興 | 12 | 6% |
| 経済活動の推進 | 23 | 12% |
| 圏域が一体となった雇用の確保 | 19 | 10% |
| 地球温暖化防止対策の実施 | 3 | 2% |
| 高等教育機関等と連携した地域活動の推進 | 2 | 1% |
| その他 | 3 | 2% |
| 合計 | 194 | |



「その他」(主な意見)

○JR山陰本線の電化 (城崎～倉吉)

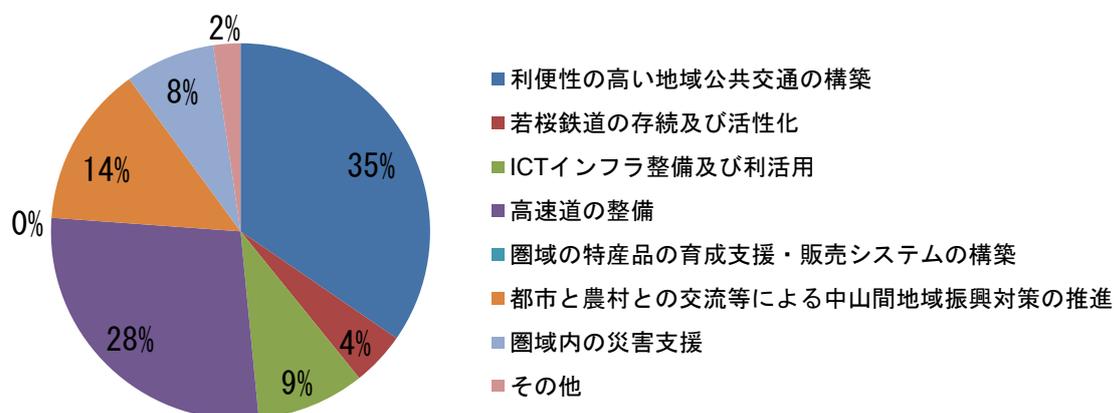
○Iターン、Uターンの推進強化

○何も無いが自然だけはあるということを強みに田舎暮らしに憧れを持っている人に田舎に誘引する施策、老後をゆったりと自然の中で過ごしていただく有料老人ホーム、老人保養施設エリアを造り介護施設、病院施設を置き、中山間エリアに田舎に移住希望する人たちのた

めの耕作放棄された農地をプロの農家の指導付きの有料家庭菜園、有料アドバイス付き農耕地および定住するための宅地、貸家などを整備し、雇用増、所得増を伸ばす。

(11) ②結びつきやネットワークの強化のための事業のうち、重点的に取り組むべきだと思う事業は何だと思われますか。次の中から2つお選びください。

| 選択肢 | 回答数(人) | 割合(%) |
|---------------------------|--------|-------|
| 利便性の高い地域公共交通の構築 | 45 | 35% |
| 若桜鉄道の存続及び活性化 | 6 | 5% |
| ICT インフラ整備及び利活用 | 12 | 9% |
| 高速道の整備 | 36 | 28% |
| 圏域の特産品の育成支援・販売システムの構築 | 0 | 0% |
| 都市と農村との交流等による中山間地域振興対策の推進 | 18 | 14% |
| 圏域内の災害支援 | 10 | 8% |
| その他 | 3 | 2% |
| 合計 | 130 | |



「その他」(主な意見)

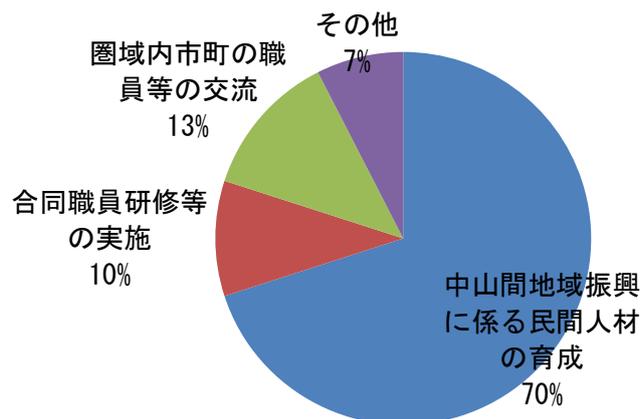
○経済活動の活発化において、自治体同士の小さな枠組みだけに留まらない、トータルデザインで圏域の独自カラーのパッケージ化

○鳥取旧市内の活性。固定資産税を引き上げ、地主に手放してもらい、シャッター店舗を減らして若手の意欲のある方に安く提供して、活性化してもらう。

○ネットワークだとか結びつきだとか耳障りの良い言葉ではあるがその実、お互いに相手を依存して寄りかかろうと言う意識があるのではないのか？

(12) ③圏域マネジメント能力の強化のための事業のうち、重点的に取り組むべきだと思う事業は何だと思われますか。

| 選択肢 | 回答数(人) | 割合(%) |
|-------------------|--------|-------|
| 中山間地域振興に係る民間人材の育成 | 56 | 70% |
| 合同職員研修等の実施 | 8 | 10% |
| 圏域内市町の職員等の交流 | 10 | 13% |
| その他 | 6 | 8% |
| 合計 | 80 | |

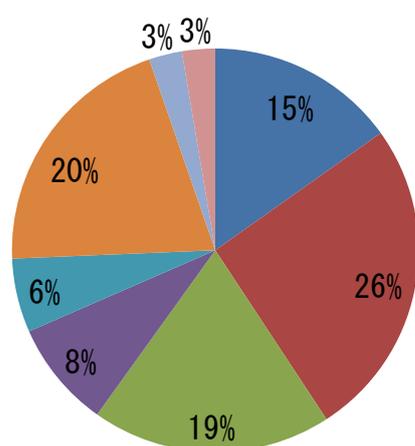


「その他」(主な意見)

- 圏域という枠組みでの新事業の創設。官民を一体とした交流。
- すべて大切だと思う。
- 県外から有能な人材を積極的に導入する。
- マネジメント側がまず圏域の実態を理解するため、必要事業の関連業者・施設での実習(見学のみでなく、実情を理解するための数日間の実務実習)
- 圏域外からでも人事交流すべき。
- 補助金政策に目もくれずに頑張っているユニークな民間人に目を向け、変に育成と言う名の行政指導等せず民間活力を信じ伸ばす。

- (13) ①圏域全体の生活機能の強化、②圏域内自治体同士の結びつきやネットワークの強化、③圏域をけん引する人材の確保・育成のための圏域マネジメント能力の強化の3分野以外に必要なと思われる項目は何だと思われますか。次の中から2つお選びください。

| 選択肢 | 回答数(人) | 割合(%) |
|--------------------------------|--------|-------|
| 圏域内の企業、大学、金融機関、自治体等が連携した経済体制整備 | 23 | 15% |
| 地域資源を活用した地域経済の拡大 | 39 | 26% |
| 圏域が一体となった戦略的な観光施策 | 29 | 19% |
| 高度な医療サービスの提供 | 13 | 9% |
| 高度な中心拠点の整備 | 9 | 6% |
| 広域的公共交通網の構築 | 31 | 20% |
| 高等教育・研究開発の環境整備 | 4 | 3% |
| その他 | 4 | 3% |
| 合計 | 152 | |



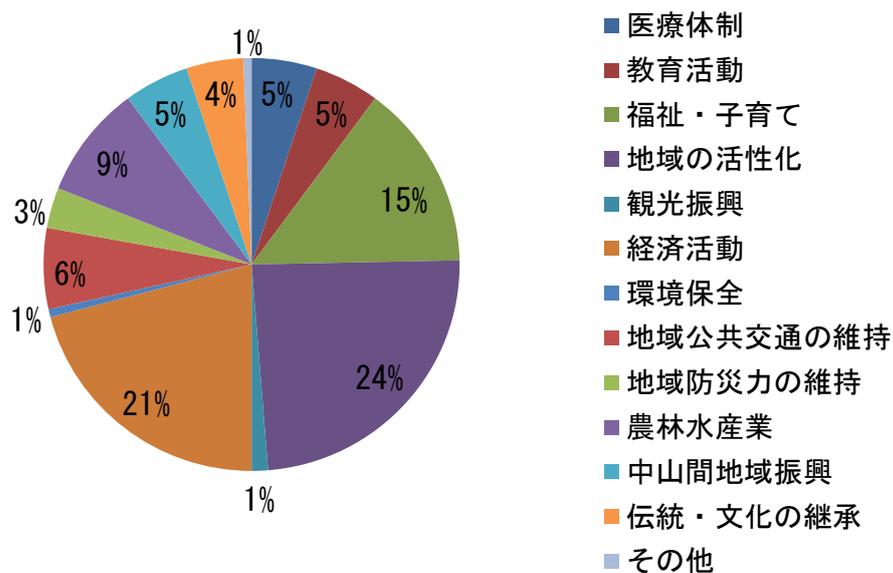
- 圏域内の企業、大学、金融機関、自治体等が連携した経済体制整備
- 地域資源を活用した地域経済の拡大
- 圏域が一体となった戦略的な観光施策
- 高度な医療サービスの提供
- 高度な中心拠点の整備
- 広域的公共交通網の構築
- 高等教育・研究開発の環境整備
- その他

「その他」(主な意見)

- 実行目標の具体的な設定と実行
- 他府県の同様な地域で成功されている所の見学や、その地域で学ぶ。
- 因幡、但馬、美作の広域圏内における文化施設の計画的な配置、整備
- すべて必要

(14) 鳥取・因幡定住自立圏の人口は減少しつつあります。人口減少に伴って大きく影響を受けることは何だと思われますか。次の中から2つお選びください。

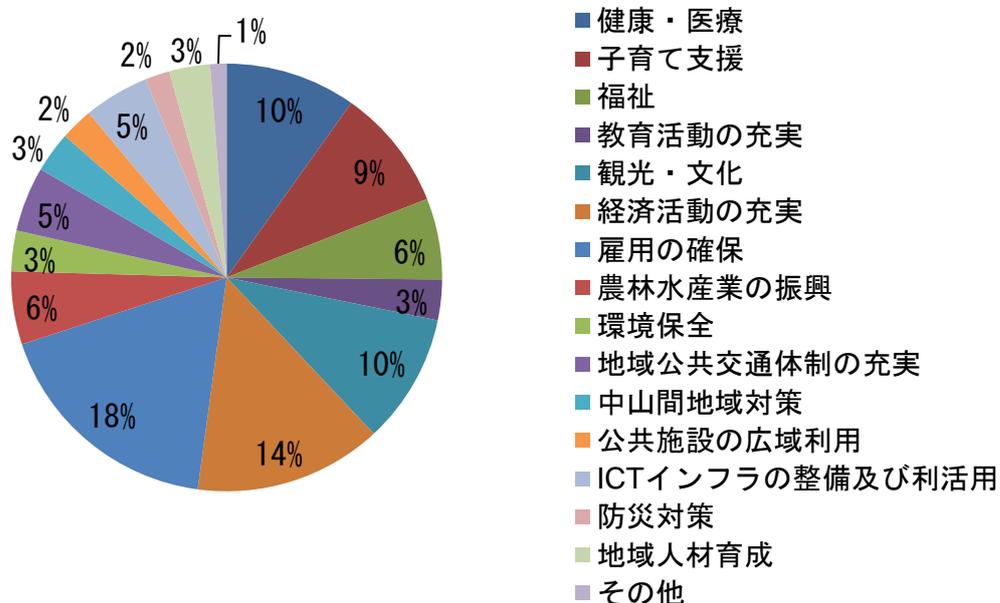
| 選択肢 | 回答数(人) | 割合(%) |
|-----------|--------|-------|
| 医療体制 | 8 | 5% |
| 教育活動 | 8 | 5% |
| 福祉・子育て | 23 | 15% |
| 地域の活性化 | 38 | 24% |
| 観光振興 | 2 | 1% |
| 経済活動 | 33 | 21% |
| 環境保全 | 1 | 1% |
| 地域公共交通の維持 | 10 | 6% |
| 地域防災力の維持 | 5 | 3% |
| 農林水産業 | 14 | 9% |
| 中山間地域振興 | 8 | 5% |
| 伝統・文化の継承 | 7 | 4% |
| その他 | 1 | 1% |
| 合計 | 158 | |



「その他」(主な意見)
すべて影響があると思う。

(15) 鳥取市が、鳥取・因幡定住自立圏の中心的な市として取り組むべき課題は何だと思えますか。次の中から2つお選びください。

| 選択肢 | 回答数(人) | 割合(%) |
|------------------|--------|-------|
| 健康・医療 | 16 | 10% |
| 子育て支援 | 15 | 9% |
| 福祉 | 10 | 6% |
| 教育活動の充実 | 5 | 3% |
| 観光・文化 | 16 | 10% |
| 経済活動の充実 | 23 | 14% |
| 雇用の確保 | 29 | 18% |
| 農林水産業の振興 | 9 | 6% |
| 環境保全 | 5 | 3% |
| 地域公共交通体制の充実 | 8 | 5% |
| 中山間地域対策 | 5 | 3% |
| 公共施設の広域利用 | 4 | 2% |
| ICT インフラの整備及び利活用 | 8 | 5% |
| 防災対策 | 3 | 2% |
| 地域人材育成 | 5 | 3% |
| その他 | 2 | 1% |
| 合計 | 163 | |



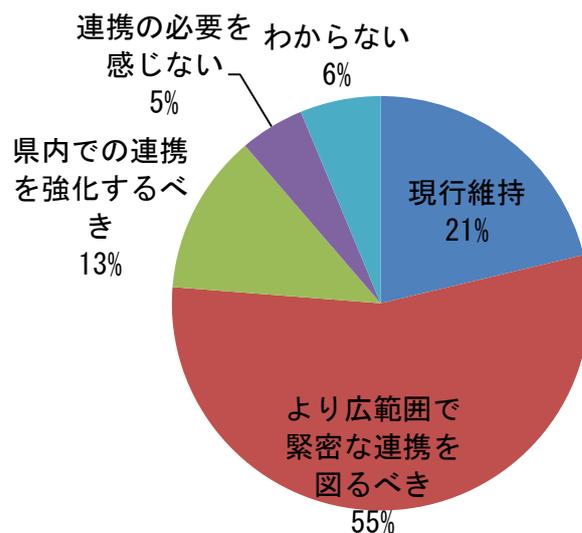
「その他」(主な意見)

○人口減少問題

○理念を明確にした具体的な目標と施策を提示すること。また、達成への道筋を明確にして組織的・計画的なプロセスを関係町村住民と共有すること。県・国との折衝と働きかけ。地域素材を生かした特区等の指定を受ける斬新な企画をだすこと。

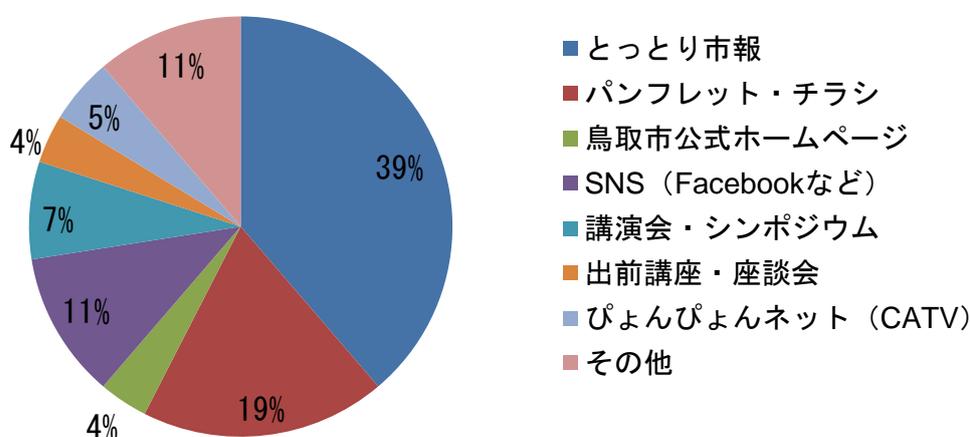
(16) 現在、鳥取・因幡定住自立圏では県境を越えた兵庫県新温泉町との連携に取り組んでいます。県境を越えた市町村との連携について、どのようにお考えですか。

| 選択肢 | 回答数(人) | 割合(%) |
|------------------|--------|-------|
| 現行維持 | 17 | 21% |
| より広範囲で緊密な連携を図るべき | 44 | 55% |
| 県内での連携を強化するべき | 10 | 13% |
| 連携の必要を感じない | 4 | 5% |
| わからない | 5 | 6% |
| 合計 | 80 | |



(17) 鳥取・因幡定住自立圏の取り組みを1人でも多くの方に知っていただき、住民のみなさんと一緒に鳥取・因幡圏域が発展するための取組を考えていく上で、どのような情報発信を行うことが効果的だと思いますか。

| 選択肢 | 回答数(人) | 割合(%) |
|------------------|--------|-------|
| とっとり市報 | 31 | 39% |
| パンフレット・チラシ | 15 | 19% |
| 鳥取市公式ホームページ | 3 | 4% |
| SNS(Facebook など) | 9 | 11% |
| 講演会・シンポジウム | 6 | 8% |
| 出前講座・座談会 | 3 | 4% |
| ぴよんぴよんネット(CATV) | 4 | 5% |
| その他 | 9 | 11% |
| 合計 | 80 | |



「その他」(主な意見)

- NHK等の全国放送で取り上げられる。
- 年齢ターゲット別に発信方法・表現を変えていかないとダメだと思う。
- 学校でのチラシ配布。学校での教育。
- 情報提供手段ではなく、住民に魅力的で必要感のある元気の出る情報であることが先決だと考える。住民にとって身近で、努力すれば達成可能な活動内容の提示が必要で、自分が関われない情報は知り置く程度に終わり、情報の意味がない。
- 一般的に(自然に)目、耳にしやすい新聞広告、チラシ、テレビ
- 人が多く集められそうな楽しいイベントなどを開催して市長が直接市民に講話する。
- 市職員の取り組みへの熱意ある行動。
- テレビ、ラジオなどのメディア。
- 市民には何を言っても結局お役所の決めたとおりにやってしまうんでしょと言う諦めにも似た気持ちでいる。その中で、上意下達を効果的に行なうと言う意識ではなく市民が平素より発信している意見を如何に効果的に情報吸収しようとする為政者側の意識を改革すべき。

- (18) 鳥取市と近隣市町村との連携について、ご意見がありましたらご記入ください。
- 人口減で大きな影響が出るまでに女性・中高年齢者の活用をはかるべきだと考えます。
 - イベント交流や、物産展などを1か月に1回程度あれば、と思うが、準備が大変だと思うので、3か月に1回程度あれば、交流が広がり、近隣同士が親密になり、活性化への力となると思います。交流の機会がすくないのと、機会があってもその宣伝が行き渡っていないと思います。
 - 生活圏として意識せず利用しているが、特に連携事業があることが感じられない。子どもが佐治や若桜での行事に参加しているが、学校同士の交流などがあるとより意識することができるかもしれないと思った。
 - できることから連携に取り組む。特に観光。
 - 鳥取市が核となって、地域全域を引っ張ってほしい。
 - 余計な事にお金をかけないで欲しい。
 - より密に交流が必要。合同で観光パンフレットやマップを作るべき。
 - 全国、県といった大きな視野で見ると鳥取市と近隣市町村の連携は小さなもので、もっとまとまっていく方が効率的だと思う。多岐にわたる課題はあるが、地方経済の活性化が雇用と若者の定住を生み出すと思うので、それぞれの地域にある特長をうまくまとめて、一つのカラーを打ち出すことで、発信力と連帯感が増すのではないか。そのために県外からプロデューサーする人を引っ張ってきてもよいのでは？
 - 近隣市町村は、頑張っていると思います。鳥取市は、保守的と言うか、変化を良しとしない、言い換えれば、「今のままでいい」という考えの方が多いと思います。
 - 関わりの深い近隣市町村とは、協力しあって活性していくべきで、大変良いことであるとおもう。足元をよく見ながら、発展を願います。
 - 問(16)の、より広範囲で緊密な連携を図るべきと考える。
 - 質問が抽象的で困る。
 - 交流強化。
 - 地方の活性化について指導的役割を果たす人材を県外からもっと導入してほしい。
 - 定住自立圏の圏域をもっと拡大してほしい。車で1～1.5時間の距離。例えば東は豊岡、南は津山、西は倉吉の範囲。
 - 近隣市町村との連携においては、やはり鳥取市がリーダーシップを取って進めていくべきと考えます。現在の鳥取市だけでは、観光や公共交通機関の発展においてもボリューム不足であり、近隣と連携して採算の採れる規模を目指すべきと考えます。
 - いろいろ話し合われ 近隣市町村と連携しておられると思いますが 市民はその辺りあまり把握していないと思います。市報に こういう取り組みについて 簡単にのせて頂けると 理解も深めるのでは…と思います。
 - 鳥取市だけがはりきってもいけません。税金なので、イベントの内容などもう一度精査してください。同じようなものが多すぎます。

- 市内から近隣市町村への移動手段、また使用道路が限られており、また整備が十分でない(公共交通の本数、時間制限、道路の整備状態、山道しかない等)ために、市内・山間部双方が行き来しにくい。慢性的渋滞道路がいつまでも改善されなかったりすることも、就業世代には住みにくさを思う要因の一つとなっている。まず市の各部署が連携をして問題を解決することを実現することが急務ではないか。(所内各部署をたらい回しにする現状の解決)
- その施策はほとんど知られていないので周知する方法を考えたほうがいい。
- 特に、今年は、鳥取市合併10年目のこの機会に、もっと活性化など投資金額に対する効果内容を評価して、改善する活動を推進する必要性を強く感じます。
- 合同でイベントを通して、PRし良い処を知ってもらおう。体験型活動。
- 行っている連携活動をできるだけ多く公表してみんなに知ってもらおうべきと思います。
- 合併して鳥取市になられた方から見捨てられているようで以前の方が良かったとよくききます。そのような生活感を持たれないように皆が生き生き楽しく生活できる鳥取市民で有りたいものです。
- 鳥取の課題は人口減少にある。若者が、生き甲斐を感じて働く場が少ないことに起因する。子育て支援等に力を入れても、親世代の若者がいないのでは話にならない。まずは、地域素材を活用した雇用環境を充実することにつくる。例えば、手狭な博物館を砂丘を一望できる場所に、安藤忠雄などの斬新な建築家に設計をたのみ建設し、近隣市町村と知恵を出し合って一大観光地にするとか、特区に指定してもらってカジノを誘致するとか起爆剤が必要だと考える。人が集まり、金が動けば、その後、ほっておいても賑わいのある地域となっていく。他の地域のまねをしていたのでは、いつまでたっても課題は解決されない。
- どちらか一方ではなく相互にメリットがある取り組みでないと続かないので、地域資源を見直し、将来展望を見据えてください。
- 「共生ビジョン」という言葉がお役所的。自治体が一生懸命にやっているということ PRするだけではなく、若者/民間の人材を生かして欲しい。私はリターンですが、この地域はすごく魅力的だと思います。色々なことをやっているが(むしろやり過ぎ)、計画が重なってしまい人集めに苦勞しているようです。サッカーは中途半端。岩美・鹿野・湖山地区・氷ノ山等すごい。(すばらしい)
- 特に兵庫県北部市町村との連携強化(経済面・行政面)が必要と考えます。(距離・時間はしれているのに、あまり交流が進んでいないと思うので)
- 最近では災害が頻繁に発生しています。鳥取では大災害は起きていませんが、起きた時には近隣市町村との関わりは大変重要となってくる事はいうまでもないと思いますが、日頃からの関わり合いを大事にしたいものですね。趣味、スポーツを通しての交流も良いですね。
- 以前のアンケートにもあった、鳥取市の中でも地域ごとに将来的な役割ビジョンを明確にするのと同様に、ある程度具体的な役割のビジョン(例えばベッドタウン、ビジネス街など)を広域的に近隣の市町と話し合い、大まかなビジョンを設定してみてもどうでしょうか。
- 県を超えた観光周遊の充実、雇用促進が重要と思います。
- 高速道路の整備に関して、鳥取道が全線開通して山陰道なども着々と整備が進められているので、「郡家・中山道路」の整備の具体的な方針・見通しを知りたいと思う。

- 鳥取付近は温泉が多いのがとても魅力的で休日にはいろいろ場所に温泉に入りに行きます。子育て支援センターもたくさんあって今の私達家族に鳥取はとてもいい環境です。なぜ人口が減るのがわかりません。連携体制も良いイメージがあります。山陰ジオパークなど海岸はきれいなところばかりでよく整備されていると思います。
- 移住者を増やせたら人口も増えるから嬉しいことだが、仕事もないし、賃金安いしでなかなか難しいかも。都会から来ると給料安すぎて暮らせていけないと言う声を聞いたことがあります。
- 急速に人口減少するのは必然なので定住地域の活性化は日本全体の問題でもあり、早急に対策する必要があります。各市町村の広い年齢層の有識者、見識者の斬新で柔軟な意見交換で迅速な取り組みをする必要が重要だと思います。
- 鳥取市が危機感を持っていろんな事に取り組むという意欲・覚悟を持って提言されているか？ ビジョン・提言を市民に投げかけるだけでは、絵に描いた餅になると思います。
- 鳥取市と同じような規模の他の都市の連携取り組みを調査、参考にする。
- いっその事、県庁を中部か西部の米子市に移せば尻に火がつくと思います。
- 勉強する事がいつまでも必要です。講演会、研修会の紹介を積極的に斡旋して頂ければ良いのでは無いでしょうか。
- 少子高齢化対策は都会をこれ以上便利にしない、都会に住むことは税制上でも不利と感じさせる施策を実施する。国の強制的な政策を望む。
- 自分達の町の将来を考えるトップ・職員がいない限り鳥取市の発展は無いのではないのでしょうか？